

月刊フットマーク

号外  vol.3

世界水泳バルセロナ 2013

発行：フットマーク広報室
東京都墨田区緑 2-7-12

BCN 2013
BCN JO13

BARCELONA 2013

◆2013年7月20日(土)～8月4日(日)
◆パラウ・サン・ジョルディ
◆第15回 F I N A 世界水泳選手権大会
(15th FINA WORLD SWIMMING CHAMPIONSHIPS)

世界の舞台、水泳人生を懸けた戦い

金藤 四 惜敗の位

メダル逃す

支えてくれた人たちに感謝したい

女子200m 平泳ぎ 決勝

- 1位 Y.エフィモワ ロシア 2:19.41
- 2位 R.ベデルセン デンマーク 2:20.08
- 3位 M.ローレンス アメリカ 2:22.37
- 4位 金藤理絵 日本 2:22.96

2年ぶりに世界の決勝の舞台に立った金藤理絵。笑顔で入場してからスタート台に立つ直前、静かに会場のモニターを見上げるようにして集中力を高め、強い想いを抱いて飛び込んでいった。



蘇った自信
メダルがなかった決勝レースでも、金藤理絵は変わらなかった。金藤らしい泳ぎで、金藤らしいレースを展開した。「自己ベストに迫る泳ぎはできるんじゃないか、という手応えは感じていた」通り、自信に満ちあふれた泳ぎを見せる。タッチ後、振り返った金藤の視線の先にあった電光掲示板に表示された数字は「4」。目指していた「3」という数字まで、あとたったの0秒59だった。

Thank you

決勝戦での泳ぎ、忘れません。素晴らしいレースでした。メダルには届かなかったけれど、本当に感謝をありがとうございました。今の気持ちは金藤選手の心の中にだけあると思いますが、少し期待も持ちつつ... 私たちはいつまでも応援しています。

by.FOOTMARK

ひたむきな想い
「惜しかったんですかね...。今は、惜しいとかは分らないです」と、涙をこらえながら話す。それだけ強い想いで臨んだレースだっただけに、悔しさは徐々に増していく。しかし、金藤は素晴らしい泳ぎで予選、準決勝、決勝とタイムを上げて、最終的に4位という結果を残した。そんな彼女の泳ぎは、仲間たちに大きな力を与えたに違いない。

2分20秒72の日本記録樹立後は、厳しいレースが続いた。どこか、過去を追い求めていたようにも見えた。それでも水泳を続けるにつれて、いつしか新しい道を模索し、新しい泳ぎを作り上げていった。そのひたむきさが現れた泳ぎを、決勝で私たちにを見せてくれた。プールから上がったあと、金藤はプールに向かってひとつ、そして声援を送ってくれた観客席の仲間たちに向かって、もうひとつお辞儀をした。その姿から感じられたのは、彼女がこのレースに込めていた一途な想い。ただそれだけだったが、それだけで、充分だった。彼女がこの大会で得たものを、また私たちに見せてくれる目を楽しみにしたい。

